

# そうほうもん

S O H O M O N

第20回

## 生活の相棒として一緒に年を取っていく道具を作りたい

自分でデザインしたものを自分で作る

——出村さんは開業なさって間もないですね。

**出村** 工場の開設は今年2月ですが開業は昨年4月からです。木にかかわる仕事がしたい、家具とかクラフトとか生活の道具を作りたい、そしてネットで検索しやすい名前とということで「木ライフプロダクト」という社名にしました。  
——お仕事の内容は。

あると考えると、まあ大変なこともあるけど、それはそれなりに面白いですよ。

——今回、アフィリエイト運用をされている奥さまと一緒にASCにご入会されて、いかがですか。

**出村** 普段の会話の中から情報を得られる非常に有意義な時間です。かみさんも僕も凝り固まった世界観の中で生きてきた。業種によってもいろんな価値観があるので、自分の考えだけが正解ではないと自覚させ



木ライフプロダクト  
出村貴昭 でむら たかあき  
木工デザイン

1963年 北海道生まれ  
1989年 北海道東海大学芸術工学部デザイン学科卒業  
1992年 株式会社匠芸 企画設計  
2015年 ASC入会  
2016年 工房開設

〒071-1411 北海道上川郡東川町西11号北29番地  
<http://www.moevenpick-weinland.com/>

**出村** 工房ではオリジナルの木製品を作って販売したり、あとは家具の修理とか、できることは何でもやるのかなと思っています。

——インターネットを始めて効果は現れていますか。

**出村** ようやくホームページが認知されて、アクセスが少しずつ増えてきているので、今は商品アイテムを増やして、お客さんがどんどん集まってくれるように下準備とか、仕込みを一生懸命しているところです。

られます。

### 木は自然素材、命の恩恵を受けている

——教え子で起業した方もいますか。

**出村** もう独立している子もいて、教え子でありながら先輩にもなるので心強いです。人と接する指導員の仕事を体験してよかったです。生活の道具を作るわけですから、いろいろな人の生活を知ることが一番大

——ご経歴を教えてください。

**出村** 東海大学の造形デザイン科を卒業後、横浜の日本ビクターでプロダクトデザイナーとして就職。それから北海道に戻って、東神楽の匠芸という会社で企画・設計を3年、高等技術専門学院の指導員を2年、その後、退職して自分で起業しました。

——事業所を立ち上げて大変な面、やってよかった面もあると思いますか。

**出村** 今まで誰かに決められていたことも自分で決められる楽しさが

事。外でセミナーやイベントがあれば出たいと思っています。

——将来に向けて企画なさっていることはありますか。

**出村** 中学・高校生が進学に迷った時のためのワークショップがあまりないので、いずれ事業がうまくいけば造形塾のような機会をつくれたらいいな。旭川近辺の高校は選択科目で美術がほとんどないので。

——最後に、お客さまに何か伝えたい思いを。

**出村** 木材は自然素材なので使っていて愛着がわいてくるし、長く使えば色も変わって傷も付くけれども、それは木材と一緒に年を取ってくれた証拠で、人間が老化するのと同じで表情を変えていくわけです。そういう木製品を使って生活を楽しんでいただきたいというのが私の思いです。



田んぼに囲まれた自然溢れる環境の中に工房が。